

PAT-NO: JP410313189A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 10313189 A

TITLE: ANTENNA CAP FOR SHIELDING
ELECTROMAGNETIC WAVES
GENERATED FROM MOBILE PHONE

PUBN-DATE: November 24, 1998

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

TAKASE, MAMORU

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

NAPOLEX CO

COUNTRY

N/A

APPL-NO: JP09137479

APPL-DATE: May 13, 1997

INT-CL (IPC): H05K009/00, H01Q017/00

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an implement having electromagnetic shielding function and ornamentation and capable of shielding harmful electromagnetic wave generated from a mobile phone.

SOLUTION: An electromagnetic shielding cylinder 2 made by the electromagnetic shielding material is fitted in the direction of an arrow A, into a hole 1a at the bottom of the antenna cap body 1, shaped after an animation character and the like. The cap fixed to the antenna of the mobile phone shields harmful electromagnetic waves and lowers

effects on persons, and
can be playful ornamentation as well. A strap 3 of the
mobile phone threaded
into a ring 1c provided at the top of the antenna cap body
1 prevents the cap
from losses, when removed in the area of low signal level.
The cap is also
good as an accessory such as a key chain.

COPYRIGHT: (C)1998,JPO

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-313189

(43) 公開日 平成10年(1998)11月24日

(51) Int.Cl.⁶

H 0 5 K 9/00

H 0 1 Q 17/00

識別記号

F I

H 0 5 K 9/00

H 0 1 Q 17/00

M

審査請求 未請求 請求項の数3 F D (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平9-137479

(22) 出願日 平成9年(1997)5月13日

(71) 出願人 000150970

株式会社ナボレックス

東京都荒川区荒川6丁目64番2号

(72) 発明者 高瀬 衛

東京都葛飾区小菅2丁目7番26号 株式会

社ナボレックス開発センター内

(54) 【発明の名称】 携帯電話機の電磁波遮断アンテナキャップ

(57) 【要約】

【課題】 携帯電話機から発生する人体に有害な電磁波を遮断する器具を、電磁波遮断機能と併せて、装飾性を持たせたものとする。

【解決手段】 アニメのキャラクター等をかたどったアンテナキャップ本体1の底面には電磁波遮断材で形成された電磁波遮断筒2が矢印A方向に穴1aに嵌入して設けられていて、この部分を携帯電話機のアンテナに被せて電磁波を遮断し人体への影響を低減させるとともに、遊び心を伴った装飾品となる。アンテナキャップ本体1の後面にはリング1cが取り付けられており、これを携帯電話機のストラップ3に貫通させておくことにより、電波状況の悪い場所等での使用時にアンテナキャップを取り外しても紛失の恐れがなく、また、キーホルダーのような感覚でアクセサリとしての効用もある。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 アンテナキャップ本体の底部に形成した穴に、電磁波遮断材で形成した携帯電話機のアンテナに被せるような大きさと形状の筒状部材を嵌入させたことを特徴とする携帯電話機の電磁波遮断アンテナキャップ。

【請求項2】 前記アンテナキャップ本体は、人形、あるいはアニメ等のキャラクターをかたどった形状、あるいは動物、植物等のアクセサリとして適した形状としたことを特徴とする請求項1に記載の携帯電話機の電磁波遮断アンテナキャップ。

【請求項3】 前記アンテナキャップ本体は、携帯電話機の携帯用ストラップに対する連結手段を備えることを特徴とする請求項1、2に記載の携帯電話機の電磁波遮断アンテナキャップ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は携帯電話から放射される電磁波が人体に悪影響を与えるのを防止する携帯電話機の電磁波遮断アンテナキャップに関する。

【0002】

【従来の技術】電子機器から放射される電磁波によって、人の健康に悪影響が与えられる可能性があることは従来から言われており、電磁波障害を防止するための各種の用品が提案されている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、電子機器の中で、最も人体に近接した状態で使用され、電磁波障害の危険が多いとされる携帯電話機のアンテナは依然として剥き出しのまま使用されており、対策が施されていない。そこで、携帯電話機のアンテナから発生する電磁波を遮断し、しかも装飾性のある電磁波遮断具を本発明は提案して前記の課題を解決しようとするものである。

【0004】

【課題を解決するための手段】上記の課題は本発明によれば、アンテナキャップ本体の底部に形成した穴に、電磁波遮断材で形成した携帯電話機のアンテナに被せるような大きさと形状の筒状部材を嵌入させたものとして解決される。

【0005】また、上記の課題は本発明によれば、前項において、前記アンテナキャップ本体は、人形、あるいはアニメ等のキャラクターをかたどった形状とし、あるいは動物、植物等のアクセサリとして適した形状とすることで解決することができる。

【0006】さらに、上記の課題は本発明によれば、前項、前々項において、アンテナキャップ本体は、携帯電話機の携帯用ストラップに対する連結手段を備えることによって解決される。

【0007】

【発明の実施の形態】本発明の電磁波遮断具はアンテナキャップとして携帯電話機のアンテナに被せて電磁波を遮断するものであり、簡単に着脱できるものである。

【0008】樹脂等で形成したアンテナキャップ本体の底面に電磁波遮断材で形成した筒状の電磁波遮断筒を埋め込み、これを必要時には携帯電話機のアンテナに被せて電磁波を遮断する。電話機が感度不足を伴って通話に支障があるような場合は簡単に取り外すことができるので、最大感度に戻すことは容易である。

【0009】アンテナキャップ本体を、人形、あるいはアニメ等のキャラクターをかたどった形状とし、あるいは動物、植物等のアクセサリとして適した形とすることによって、遊び心を伴った装飾性を持たせることができ、携帯電話機の利用を一層楽しいものとすることができる。

【0010】さらに、アンテナキャップ本体には携帯電話機の携帯用ストラップに対する連結手段、例えばリング等を備えさせておき、これをストラップに通しておくことによって、アンテナから取り外した場合でも、脱落することがなく紛失の恐れもない。さらにキーホルダーのような感覚でアクセサリとしての効用もあるものとなる。

【0011】

【実施例】図はいずれも本発明の実施例を説明するためのものである。図1において、1はアンテナキャップ本体であり、アニメのキャラクター等の形状に形成し、着色した樹脂製である。1aはアンテナキャップ本体1の底面に設けた穴であって、この穴1aに電磁波遮断筒2を嵌入させる。電磁波遮断筒2は電磁波カットクロス材等の、電磁波を遮断し得る材料で円筒状に形成し、その長さとは径は携帯電話機のアンテナ部分をほぼ収容することができるよう設定する。このような電磁波遮断筒2を、図1における矢印A方向に、アンテナキャップ本体1の底面の穴1aに嵌入させ、固定する。

【0012】1cはアンテナキャップ1の後面に突出させて設けた係合部1bに設けた穴に通して取り付けたりングであって、このリング1cを、携帯電話機(図1では図示せず)のストラップ3に通して連結する。

【0013】図2はこのようなアンテナキャップ1を携帯電話機のアンテナに取り付けようとする状態を示す。4は携帯電話機であって4aは、その上面から上方へ突出するアンテナである。このアンテナ4aに、アンテナキャップ1の底面の穴1aを利用して矢印B方向に挿入しアンテナキャップ1を被せる。

【0014】図3はその使用状態である。アンテナ4aはアンテナキャップ1によって被われるので、アンテナ4aから発生する電磁波は減衰して人体への影響が低減される。この場合、携帯電話機4は電磁波遮断材からなる収納ケースに収容されていることが望ましい。

【0015】図4は電波状態がよくない場所で、携帯電

3

話機の感度を最大に得ようとする場合であって、アンテナキャップ本体1を、携帯電話機4のアンテナ4aから抜いて取り外す。アンテナキャップ本体1はストラップ3にリング1cによって連結されているので、脱落することなく保持され、次回の使用時に便利である。

【0016】また、キーホルダー状にストラップ3によって保持されるので、アクセサリとしての効用も期待できるものとなる。さらにデザインの異なるアンテナキャップ1を数種類備えておき、気分に合わせて取り替えて利用したりすることも可能である。

【0017】

【発明の効果】以上のように本発明によれば電磁波遮断具を携帯電話機のアンテナに被せるキャップ状としたので、アンテナに対して着脱がすこぶる簡単に行えるものとなり、電波状況に対応した電磁波遮断が容易なものとなった。

【0018】さらに、アンテナキャップ本体を人形や、アニメ、人気テレビ番組の主人公等をかたどったものとしたり、動物、植物などアクセサリとして適当なものとすることによって、携帯電話機のアクセサリとして、携帯電話機の使用を楽しくさせる効果が期待できるものとなる。

【0019】また、アンテナキャップ本体に携帯電話機

4

のストラップとの連結手段を備えさせたので、アンテナキャップを取り外した場合でも脱落粉失等の恐れもなく、また、この状態でもアクセサリとしての効果もあるものとなる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のアンテナキャップの一実施例の分解斜視図である。

【図2】図1のアンテナキャップを取り付けようとする状態の説明図である。

10 【図3】図1のアンテナキャップの使用状態の説明図である。

【図4】図1のアンテナキャップを取り外した状態の説明図である。

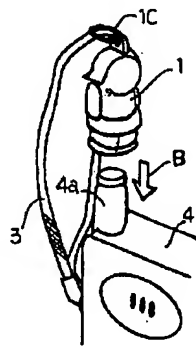
【符号の説明】

- 1 アンテナキャップ本体
- 1 a 底面の穴
- 1 b 係合部
- 1 c リング
- 2 電磁波遮断筒
- 3 ストラップ
- 4 携帯電話機
- 4 a アンテナ

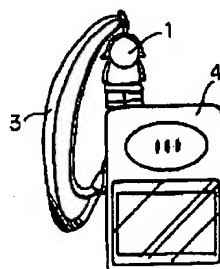
【図1】



【図2】



【図3】



【図4】

